

[通常機体]メ M 「機動戦士Zガンダム」

メタス

機体名	メタス	画像
型式番号	MSA-005	
英語名	METHUSS	
所属	エウーゴ	
パイロット	レコア・ロンドファ・ユイリィ	
装甲材質	ガンダリウム合金	
装備	ビーム・サーベル (0.5MW) × 6 (ビーム・サーベル (0.4MW)) アーム・ビームガン × 2 ビームライフル (2.2MW)	
作品名	機動戦士ガンダム	
参考書籍	ガンダムコレクション 8MJ1992.3	

内容

エウーゴの攻撃用試作型可変 MS。

アナハイム社の新型 MS 開発計画「Z プロジェクト」に関連して試作された MS の 1 つで、可変機構のテスト用に開発された機体である。

MA 形態での運動性や加速性能は良好だが、可変機能を優先し過ぎたため機体の耐久度は低くまた火力も貧弱であった。

そのため試作機数機が完成した時点で開発は中止され、量産は見送られた。

しかし操縦が容易であったため、一部の機体が改修を受けて前線に配備されている。

■ ガンコレ

Z 計画は傑作機ゼータガンダムの開発に成功したが、この機体の量産化の目途が立つまで、共に運用の出来る可変モビルスーツに悩む事となった。

メタスは、Z 計画の一環で開発された可変機構を持つモビルスーツで、高火力の兵装こそ持たないものの両腕部にはアーム・ビーム・ガンが備えられ、ビーム・サーベルを複数持つことによって、足止めや持久戦を前提とした機体となったのである。

グリプス戦役中期、ティターンズのアポロ作戦に合わせて投入されたこの機体は可変モビルスーツながら操縦は比較的易しく、パイロット歴の浅い者でも生還率が極めて高かった。

また、マシントラブルも少なく、アーガンマ隊では大変重宝され、機体を損失しても、ダブルゼータが配備されるまで何度も補充され続けたようだ。

■ MA 形態

メタスは可変機構の検証試作機という性格上、攻撃力はさほど高くない。

しかし、MA 形態では高速移動能力を生かし、戦闘機として活躍した。

備考

スペック

項目	内容
頭頂高	18.1 m
全高	26.0 m
全長	21.8 m
本体重量	27.8 t
全備重量	52.4 t
ジェネレーター出力	1640 kw
パワージェネレーター出力	1640 kw
スラスター推進力	77000 kg
移動用ロケット推力	18600 kg × 310600 kg × 2
アポジモーター数	不明
センサー有効半径	10900 m
姿勢制御用バーニア	8 基
乗員	1 名